

リニアに関する住民説明会は形式的でお粗末との声を会社は受け止めろ！

リニア中央新幹線建設に関して申し入れ

会社は昨年9月、「中央新幹線環境影響評価方法書（方法書）」を公表し、各地区で説明会を行っています。しかし、参加した方々から「説明会は形式的に行うだけで、参加者からの質問には答えることができない。お粗末なものだ」等の声が聞こえています。さらに、方法書にはトンネルの残土処理方法、立坑の設置箇所など、住民の生活に直結する問題について、具体的記述がされていないとの指摘も聞こえます。

説明会以降、参加者からはリニア建設の反対意見が続出し、また自治体からも疑問の声が上がっています。このような地域の意見や自治体からの疑問に答えるのが、公共交通を担う企業・JR東海の役目ではないでしょうか。

また、中間駅建設費の会社負担も発表しましたが、私たちは当該企業の労働組合として、今まで以上に経営危機を招くものだと危惧せざるを得ません。

JR東海労はリニア中央新幹線の建設工事や経営について解明すべく、申し入れを行いました。

主な申し入れ内容

- * 建設費の調達・返済計画を明らかにすること。
- * リニア中央新幹線は採算がとれるとする根拠を明らかにすること。
- * リニア中央新幹線の使用電力の確保について明らかにすること。
- * 工事で排出される土砂の処理方法を明らかにすること。特にウラン鉱床への対処方を明らかにすること。
- * 関係自治体からの意見を明らかにすること。
- * 具体的ルート、関連施設の建設位置を明らかにすること。
- * あらゆる手段で地域の方々に説明会への参加を呼びかけること。